ヒノキ風呂×温泉宅配は全国の温泉巡り 認知症の予防と改善にも役立つとご家族にも大好評!

「ここの温泉、知ってる!」「昔行ったのよ!」 会話が弾む!楽しみが増える!温泉入浴

―温泉宅配ご利用中の「イリーゼ八乙女」様(宮城県仙台市)のご紹介―

■入居者様が楽しみにしておられます



イリーゼ八乙女、アクティビティコーディネーターの菊池愛希(きくちいつき)様。

「次は日光鬼怒川温泉になりました!」 「やったー!|「次の温泉入浴はいつですか?|

温泉宅配を活用し、入居者様の会話が弾むようになったと語られるのは、毎月温泉入浴をイベント化されている有料老人ホーム「イリーゼ八乙女」の菊池 愛希(きくち いつき)様。

この度、宮城県仙台市から地下鉄で15分ほど。 駅から徒歩2分のところにあるイリーゼ八乙女様を訪問し、お話を伺いました。

■導入のきっかけは"温泉宅配サイト"

「イリーゼ八乙女は2025年7月にオープンしました。ヒノキ風呂を活かせる方法を探す中で、 ヒューマンウエアの温泉宅配を見つけました。以来、毎月購入し、入居者の皆さまに本物の温 泉を楽しんでいただいています」

入浴剤ではなく"全国の源泉100%"。

身体の都合で遠出が難しい方でも、自宅や施設で気軽に温泉を楽しめる― ―それが温泉宅配です。

■「1か月で2回も温泉に?!」

ご家族からの見学時、「入浴剤ですか?」と聞かれることも。

「いえ、本物の温泉です」と答えると、驚きの声が返ってきます。

なかには「私も入りたい!」と話すご家族も。

同施設では、月1週間を"温泉ウィーク"とし、週2回の温泉 入浴を実施。

つまり、**1か月で2回も天然温泉を体感**できるのです。



ヒノキ風呂と20 ℓ BOXタイプ 蔵王温泉、松之山温泉、日光鬼怒川温泉

■ご家族にとっても大きな訴求ポイント

ご家族が特に注目するのは日常の「食事」と「入浴」。

従来は「体調に合わせて入浴できます」と答えていたところを、今では**「月2回、本物の温泉に入れます」**と伝えられるようになりました。

そのインパクトは大きく、「2回も?!」と驚かれるご家族が多いです。

■会話が生まれる"温泉の日"

温泉の日には、宅配された20 ℓ の温泉を小分けし、ヒノキ風呂に注ぎます。

「今日は日光鬼怒川の温泉ですよ」と告げると「えーっ、温泉なの! 昔、旅行で行ったわね」

記憶が呼び覚まされ、会話が自然と広がります。

ヒノキのお風呂です、だけでは響かなくても、温泉だと、入居者 の皆様に響きます。

認知症の方も"温泉"という言葉に強く反応し、

「ああ、今日は温泉の日ですね」と思い出すきっかけに。

まさに会話のリハビリにもつながっています。

■入居者が"選ぶ"から楽しい

毎月アンケートを行い、「入りたい温泉」を入居者自身に選んでもらいます。

「知ってる温泉!」「昔行ったね」といった声から、青森、秋田、山形、岩手、福島、宮城… 各地の温泉地が話題にのぼり、想い出話が花開きます。

「来週は日光鬼怒川温泉です!| と発表すると、「やったー!| と歓声が上がる。

"選べる参加型"が、入居者の楽しみを倍増させています。

認知症の方には会話のリハビリとして大いに"全国の名湯"が役立っています。

■アクティブリビングと温泉宅配の親和性

同施設の正式名称は「有料老人ホーム イリーゼ八乙女 アクティブリビング」。

イリーゼグループ初の"アクティブリビング"を掲げる施設として、 温泉宅配との相性は抜群です。

これからも入居者様に喜ばれる温泉宅配を続けていきたい。

――菊池様の言葉が、温泉宅配の可能性を物語っています。

各フロアごとに、スポーツ、読書、などテーマがあり、ここの読書のフロアでは幅広く興味深いジャンルの書籍がずらり取り揃えてあります。

◆「イリーゼ八乙女」のお名前の語源

イリーゼ(Iliese)はギリシャ語で「虹」を意味し、有料老人ホーム「イリーゼ八乙女」では、高齢者の方々がそれぞれの色を失わず輝き、ご家族の不安を解消する安心できる生活の架け橋になりたいという願いが込められています。

イリーゼという名前の由来と込められた想い

ギリシャ語の「虹」:

サービスブランド名である「イリーゼ」は、ギリシャ語で「虹」を意味します。

架け橋となる存在:

様々な想いを抱える高齢者の方々が安心して暮らせる生活の架け橋となり、その方々がご自身の 色を失わずに輝ける住まいでありたいという願いが込められています。

> <u>温泉宅配公式サイト</u> QRコードはこちら→



<u>菊池様の温泉活用(動画)</u> QRコードはこちら→





株式会社 ヒューマンウェア https://www.human-ware.net/ 〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-2-3 NSビル TEL 03-5282-7511 FAX 03-5282-7512